

2016年6月

各 位

News Release

2016年度

「海外音楽研修生費用」助成対象者を決定

—公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団—

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団(理事長 関口憲一、1991年6月設立)では、クラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成を目的として、本年度の「海外音楽研修生費用助成」の助成対象者を1月以来公募してきましたが、このたび選考を終えて助成対象者を決定し、助成金目録の贈呈を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

【 お問い合わせ先 】

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

理事 事務局長 山内 彰

〒160-0023

東京都新宿区西新宿1-9-1 明治安田生命新宿ビル

TEL. 03-3349-6194

FAX. 03-3345-6388

1. 2016年度 海外音楽研修生費用助成対象者

助成対象者5名

(専攻部門別、敬称略)

氏名/性別・年齢	留学志望先	助成期間	音楽歴
専攻	最終学歴		
すざき れいな 鈴木 玲奈 (女・27) 声楽 (ソプラノ)	ミュンヘン 音楽・演劇大学	2年	10 2nd東京国際声楽コンクール大学生部門1位 11 65th全日本学生音楽コンクール声楽部門大学生の部3位 12 11th東京音楽大学コンクール声楽部門1位 13 49th日伊声楽コンソルト3位 15th世界ホラ歌唱コンクール アジア代表ドイツ本選出場 14 歌劇「ランメルモールのルチア」タイトルロール出演 15 歌劇「愛の妙薬」ジャンネッタ役
13.3 東京音楽大学大学院声楽科専攻ホラ研究領域首席修了			
かわぐち なるひこ 川口 成彦 (男・26) フォルテピアノ	アムステルダム 音楽院	1年	13 1stローマ・フォルテピアノ国際コンクール「M.クレメンティ賞」優勝 イタリア・トリエステ古楽祭Wunderkammer Trieste2013でリサイタル 14 27th国際古楽コンクール<山梨>鍵盤楽器部門2位 15 東京藝術大学大学院アカサス賞受賞 2015ヘルフィンク国際フォルテピアノコンクール3位 (アムステルダム) BRILLIANT CLASSICS(オランダ)よりCDデビュー 16 79thフィレンツェ五月音楽祭でリサイタル
15.9~アムステルダム音楽院古楽科修士課程1年在			
うえの あきこ 上野 明子 (女・22) ヴァイオリン	ケルン音楽大学	2年	02 1stバルセロナ・コレテスジュニアコンクール1位 10 4th横浜国際音楽コンクール高校の部1位 グランプリ受賞 11 65th全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会2位 21th日本クラシック音楽コンクール高校の部最高位(2位) 13 15th日本演奏家コンクール大学の部1位 読売新聞社賞 15 84th日本音楽コンクール入選 東京芸術センターにてリサイタル開催
16.3 桐朋学園大学音楽学部卒			
にへい まゆ 二瓶 真悠 (女・24) ヴァイオリン	ベルリン芸術大学	2年	07 IMA音楽賞受賞 09 3rd横浜国際音楽コンクール高校の部1位 10 8th東京音楽コンクール1位、聴衆賞 10~読売日本交響楽団、東京都交響楽団等8楽団と共演 16 在ドイツ日本国大使館コンサート出演
15.10~ベルリン芸術大学大学院1年在			
やぎ えいこ 八木 瑛子 (女・21) フルート	ジュネーヴ 高等音楽院	2年	11 16thびわ湖国際フルートコンクール アドヴァンス部門奨励賞、オーデリエンス賞受賞 65th全日本学生音楽コンクール高校の部3位 14 25th日本木管コンクール1位、保科賞受賞 15 29th若い芽のコンサートで大井剛史指揮ニューフィル千葉と共演 32th日本管打楽器コンクール3位
13.4~東京藝術大学音楽学部4年在			

2. 公募の概要

- (1) 本年1月4日から4月8日まで、推薦者2名を必要とする要推薦制の公募を行ない、67件の申込を受け付けた。
(注) 専攻部門別等の申込状況は、別表1(9頁)に記載。
- (2) 公募に際しては、申込要領等の公募資料をわが国の主な音楽大学(28校)および音楽指導者(338名)ならびに各演奏団体、音楽情報誌等に送付し、告知と推薦の依頼を行なうとともに、当財団のホームページにも公募内容を掲載した。
- (3) 選考委員会における第1次選考(書類および録音資料審査)ならびに第2次選考(実技および面接審査)を経た後、理事会(本年6月7日開催)の承認を得て決定した。

3. 助成対象事項と一人あたり助成額

制度の名称	助成対象事項	一人あたり助成額
海外音楽研修生費用助成	海外における音楽研修に対する助成(原則2年間)	年額200万円 (2年間助成 400万円)

(注) 音楽分野事業ではこのほかに、指定音楽大学に在籍する3年次生以上の学生への奨学金援助として、一人当たり年間30万円(在籍期間通算30~60万円)の奨学金を支給する。また、音楽家育成を目的とする音楽コンクール開催援助として、「日本音楽コンクール」作曲部門最優秀者への寄託賞(「明治安田賞」50万円)を贈呈する。

4. 決定件数と決定金額

	申込件数	決定件数	決定金額
海外音楽研修生費用助成	67	5	1,800万円

(注1) 決定金額は、「決定件数×一人あたり助成額」の合計金額。本金額は、研修開始が次年度以降に繰り越す場合もあり、2016年度の実行予定金額ではない。

(注2) 音楽奨学金、日本音楽コンクール開催援助を含めた過去の助成状況は、別表2(10頁)に記載。

5. 本年度の選考経緯

- (1) 第1次選考委員会(本年4月22日開催)
本選考委員会では、申込時に提出された67件におよぶ全録音資料を試聴した上で書類審査を行い、17名の第1次選考通過者を選出した。なお、書類審査に際しては、次の点が総合的に判定された。
 - ① 留学目的および留学希望先の選定が妥当なもので、将来の進路計画と一致するものであるか。
 - ② 留学希望先の受入れが明確で、諸手続きが具体化しているか。

(2) 第2次選考委員会（本年5月27日開催）

本選考委員会では、第1次選考通過者17名に対して実技オーディションと面接を行い、最終的に本年度海外音楽研修生費用助成候補者として5名を選出した。なお、本審査においては、実技の審査とともに次の観点からの面接が行われ、総合的に判定された。

- ① 海外留学の具体的な目的は何か。
- ② 留学希望先とのコンタクトはどのような状況にあるのか。準備はどうか。
- ③ 留学修了後の計画はどのようになっているか。将来の進路をどのように考えているか。
- ④ 他財団等からの助成の予定があるか。

このほか、面接に際し、各選考委員から2次選考参加者に対するアドバイスが行われた。

（ご参考）音楽分野選考委員一覧（敬称略）

（2016.6.1現在）

選考委員長	丹羽正明	音楽評論家
選考委員	植田克己	ピアニスト・東京藝術大学教授
〃	金昌国	フルーティスト・武蔵野音楽大学特任教授
〃	多田羅迪夫	声楽家・東京藝術大学名誉教授
〃	徳永二男	ヴァイオリニスト・桐朋学園大学特任教授
〃	三宅幸夫	慶応義塾大学名誉教授・音楽学
〃	渡辺行信	当財団元専務理事

6. 助成金目録贈呈式の開催

本年7月8日（金）午前11時から、明治安田生命新宿ビル（東京・新宿）において助成金目録贈呈式を開催する。

以上